

モノづくり



モノは「人」がつくり、
感動と笑顔を届ける。



城陽新池
Joyoshin-ike

城陽が、変わる。

「じりじり」から、何をイメージしますか？ 固いものを削る様子や、力強く進む様子などを思い浮かべる方がほとんどではないでしょうか。

しかし、私たちは、「わがまち城陽」のことを、真っ先に思い浮かべます。

鉄道も高速道路もなかったその昔、京都と奈良の都を結ぶ奈良街道がありました。

京都から五里、奈良から五里と双方の真ん中に位置した交通の要衝の城陽は、悠久

のときを経て、近年、「五里五里の里」と呼ばれるようになりました。

耳を澄ませば聞こえてきませんか。今まさに城陽が大きく変わる

「じりじり」という音が。

新名神高速道路の供用で 城陽は大阪・神戸・奈良・名古屋 の結節点に

城陽市を含む京都府南部地域には、京都と滋賀を結ぶ「京滋バイパス」、京都と大阪を結ぶ「第二京阪道路」、京都と奈良を結ぶ「京奈和自動車道」の高速道路網が整備されています。

さらに、平成29年4月には新名神高速道路「城陽～八幡京田辺間」が供用開始されました。

また、2023年度には新名神高速道路「大津～城陽間」、「八幡京田辺～高槻間」の供用が予定されており、新名神高速道路の全線開通に向けて着々と事業が進められています。さらに、市の東部丘陵地において

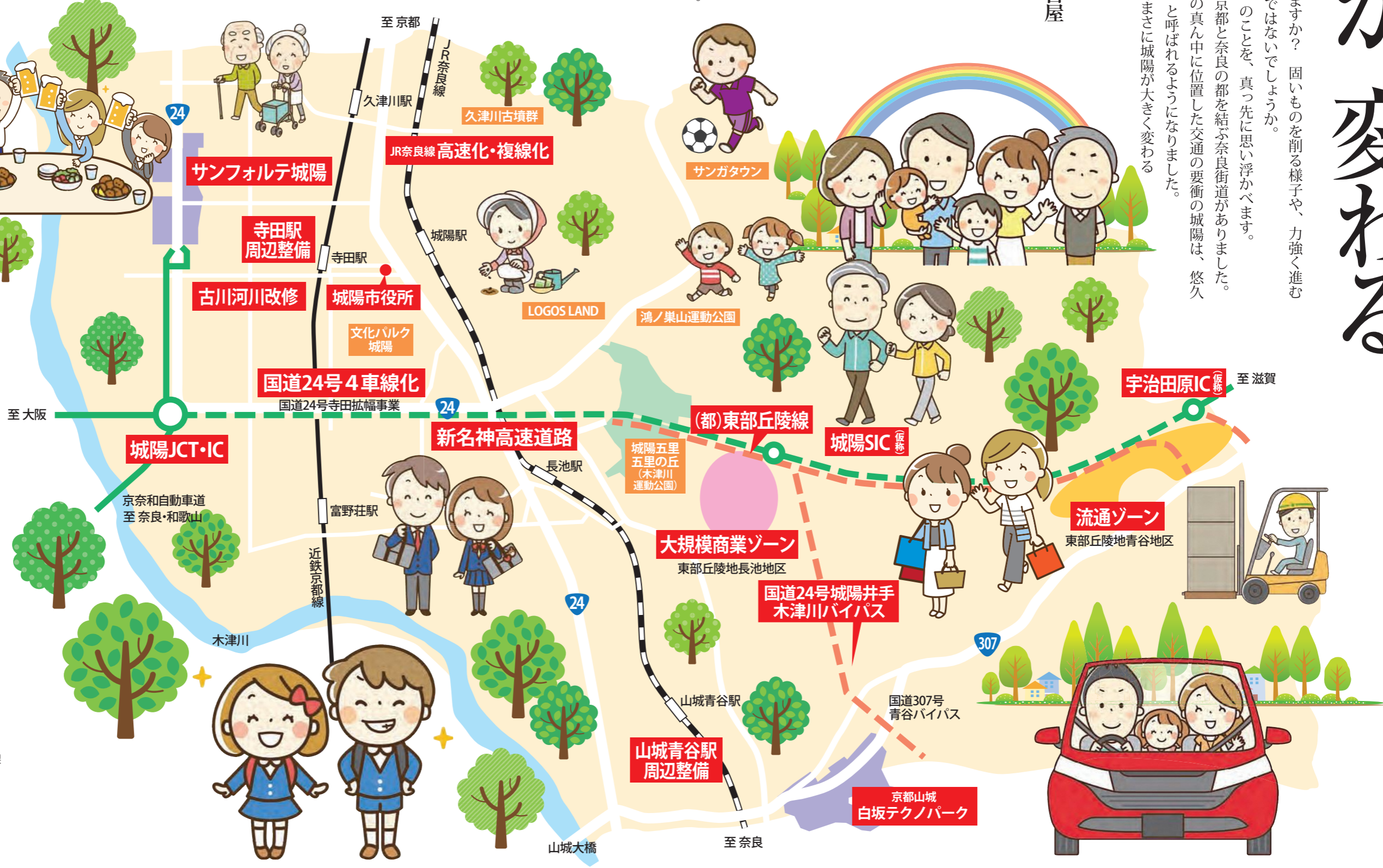
は、平成29年8月に国土交通省から新名神高速道路と直結する城陽スマートインターチェンジ（仮称）（SIC）の連結が許可されました。これにより、さらなる高速道路利用者の利便性向上や企業立地の促進が期待されます。

これからの城陽市は、これまでのベッドタウンから、新名神高速道路の全線開通等を契機として、「ヒト」や「モノ」、「情報」、「サービス」などが行きかう、交通結節点として日本のハブ都市となりうる可能性を秘めています。

そのような中、昨年8月に、市で初めてとなる産業振興の指針「京都城陽産業かがやきビジョン」を策定しました。

ハブ都市にふさわしい、城陽新時代を実現するため、すべての関係者が一体となって、これまで以上の産業振興に取り組んでいます。

そのため本号では、これから変わっていく城陽を牽引していく元気な企業を知っていただくため、製造業だけでなく、郵便業、運輸業についてもご紹介し、今後ますます発展する城陽市とその発展を支える企業の魅力をお伝えしていきます。



京都・城陽の企業を応援する情報誌
城陽カンパニー [平成31年春号]

ジョーカー

CONTENTS

- 2 城陽が、変わる。
- 4 未来の城陽産業を語る。
- 8 (株)アオイヒートテック
- 9 京都エイドー工業(株)
- 10 京都郵便局
- 11 (株)Shinmei Delica
- 12 ダイセイエプリー二十四(株)
- 13 中島工業(株)
- 14 (株)浜田染工
- 15 ローヤル工業(株)
- 16 市長挨拶・優遇制度

[発行] 城陽市まちづくり活性部 商工観光課
☎ 0774-56-4018
[編集] 城陽商工会議所
☎ 0774-52-6866
[制作協力] ココロ株式会社



未来の城陽産業を語る。

交通インフラや産業など変化が著しい城陽市において、中心的な役割を担う城陽商工会議所の会頭、副会頭、専務理事の皆様にお集りいただき、奥田市長と共に未来の城陽について、大いに語っていただきました。

(奥田市長) 商工会議所に は商業・産業振興・地域発展に大きな役割を果たしていただき、感謝を申し上げ、敬意を表します。さて、昨年9月に愛称が決定した「サンフォルテ城陽」をはじめ、新名神高速道路の全線開通に向けた動き、東部丘陵地開発、城陽井手木津川線のインフラ整備など、今後ますます利便性が向上し、大いに交流人口の増加が期待されます。この絶好の機会に市の産業振興を積極的に進め、城陽新時代に相応しい、人とモノが行きかうハブ都市を目指したいと考えています。そんな「NEW 城陽」を作り上げるために、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

(木谷部長) 城陽の企業の 景況感、課題等についてどう 思われますか？

(堀井会頭) 景気の拡大は 戦後最高で、平成31年1月で「いざなぎ景気」を超えました。政府の財政金融政策でお金が動いて、大きな会社は利益を上げています。大手が設備投資を増やせば、中小企業は恩恵を受けやすい。海外拠点への設備投資でも、日本で製造した機械が多く採用される。特に半導体関係はかなり動いているので、業種によっては、売上は上昇しています。大切なのは企業ニーズに合わせ、自らを変える事だと思います。深刻なのは人手不足で、仕事はいくらでもあるのに、働き手がいらないと言

経済が非常に活性化します。弊社では、就職を機に他府県から城陽に移り住む社員がたくさんいます。皆、城陽の暮らしに満足しており、まちづくりが進む中で、こういう人が増えていくのではないかと思います。先ほど、生駒専務から人手不足の話があり、弊社も案内いただいた企業説明会に出展し、早速雇用ができました。城陽がこれから非常に発展するまちを宣伝することで、雇用も安定すると思うので、しっかりと取り組んでほしいと思います。

(木谷部長) 商工会議所で は、産業振興・まちづくり に、どのようなビジョンをお持ちでしょうか？

(堀井会頭) 各々の思いは あります。城陽がこれだけ 変わることは今までの歴史上ありま せんでした。この千載一遇のチャン スをどう利用するかなんです。ア ウトレットモールなら、1日2万人 以上の方が、城陽へ来ていただける。 これらのお客様をどういう風に市内 各所にお招きするか。その仕組みを 考えるために、私たちも行政も市民 も皆で知恵と力を合わせなければと 思っています。ただし、お客様が来 られても喜んでいただく工夫が必要 なので、事業所ごとに相当知恵を絞 り、事業所同士が競争して切磋琢磨

生活道路をどう整備するかになります。働く人が城陽に住みたくなる ような都市計画をお願いします。 (中川副会頭) インフラが 整備され、城陽は暮らしやす い、居心地のよいまちになると思 います。JR奈良線も複線化されて 便利になりますが、私は最寄りなが 池駅になるので、快速が止まらない と影響は大きいですね。ダイヤ毎に 変えるとか、臨時を止めるとか、何 か工夫や施策が必要だと思います。 業を出来るだけ誘致しています。重 機や建設機械のレンタル会社なら、 城陽市と防災協定を結んで、災害時 にすぐに役立つブルドーザー、発電 機、排水ポンプなどが貸りられる。 すでに台風後に仮設の足場を組める 会社に入っていたいでいます。企 業によって、市民生活がプラスにな ることも大切だと思います。

(岩見副会頭) 私は個人的 に「いよいよ、街が変わっ てきたな」と感じており、城陽は産 業、商業、物流など様々なハブ都市 になると思っています。企業が増え て人口の増加も期待しますが、昼間 の人口がもっと集まる場所になれば、

のパート時給平均額994円でした。 建設業は1292円、製造業950 円、飲食業932円で、最も低いの は小売業904円です。最低賃金が 882円と22円高いだけなので、先 程からお話しに出ている小売業の厳 しさは反映されているように思いま す。今後、アウトレットモールの進 出により、地元の既存の小売店の時 給が、どう変わってくるのかは、非 常に気になります。

(木谷部長) 新名神開通を はじめ、様々なインフラ整 備が進んでいますが、これらが産業 界にどのようなプラスの影響がある と思われませんか？

(古瀬副会頭) 新名神高速 道路全線開通によって、舞 鶴、和歌山、神戸、名古屋の中心に 城陽が位置しますね。サンフォルテ 城陽が立派になり、白坂テクノパー クの入居が進んだのも、道路のお陰 だと思えます。また奈良と京都の間、 本当に五里五里の里なので、道路網 が整備されれば、産業的には自ずと 発展すると思います。城陽市は商業、 工業、流通など全ての分野に対して、 便利で働きやすい場所なので、工業 や商業がまだまだ集積されると思っ ます。京都は大学や研究機関もたく さんあるので、新しい産業が生まれ やすいので期待しています。あとは

城陽がこれだけ変わることは今までの歴史上にない。 この千載一遇のチャンスはどう利用するか。 —堀井会頭—

う状態になってきています。しかし、 商業系の企業は生産性を高めるのが 難しいため、景気の良さを実感され ているところは少ないと思います。

(中川副会頭) 会頭がおつ しゃる通り、商業は下降気 味で、人手不足と人材の技術力の低 下を痛感しています。昔のような徒 弟制度も緩くなって、職人の厳しい 部分が通用しない。だから、誰でも 一定レベルの和菓子が出る仕組み を作らなければと思っています。商 業の分野は今の景気に全然合ってい ない。材料費も人件費も上がるけれ ど、商品の価格を上げると売れなく なる。付加価値をお客様に認めても らえるように、取り組むことも重要 だと考えています。

(堀井会頭) バブル以降、 景気はデフレで消費者物価 を2%上げるのはなかなか難しい。 給料も上がっていないから、安いも のばかり買う。さらに欲しいものも 少ない、入ってくる種類も少ない。 東京は給料も高く、人が多いから売 れるので、地方の商業は本当に厳し いと思います。

(生駒専務理事) 宇治・城陽・ 久御山で経営経済動向調査 を昨年7月に実施したところ、経営 上の問題点として最も高いのが「求 人難」でした。業種別では、卸小売 業が売上、受注不振、飲食業は人件 費の高騰、製造業・運輸業・サービ ス業・建設業は求人難という結果 が出ています。今回初めて実施し た、賃金実態調査では、平成29年度



城陽市 まちづくり 活性部長
木谷克己



城陽商工会議所 専務理事
生駒智史



城陽商工会議所 副会頭
有限会社 松屋 代表取締役
中川憲一



城陽市長
奥田敏晴



城陽商工会議所 会頭
株式会社サンエイ 代表取締役会長
堀井美郎



城陽商工会議所 副会頭
株式会社 城南工建 代表取締役
古瀬善啓



城陽商工会議所 副会頭
株式会社 杜若園芸 代表取締役
岩見悦明

地域に寄与できる防災関係の企業を出来るだけ誘致。
市民生活がプラスになることも大切だ。――古瀬副会頭――

するなかで、糸口が見つかるような気がします。将来に向けて頑張ろうと意気込む企業が出てきてほしいし、そういうところを会議所は応援していきます。また事業所同士が意見交換や交流できるプラットフォームは必要だと考えております。



（古瀬副会頭）堀井会頭が言われたその通りなんです

が、既存のアウトレットモールに行っても、その近くのまちに行くことは非常に少ない。だから一番いいのは、アウトレットモールの周りにもいろんな商業施設ができることだと思います。交通アクセスでは、JRや近鉄の駅からアウトレットまで色んな仕掛けがあって、滞留する仕組みを考案することが大切です。アウトレットモールができたけれど、人が多くなって、周辺道路が渋滞して

それだけで終わったら困るので、会議所として大きな課題だと思います。（生駒専務理事）現在、城陽商工会議所に約1300の会員様がいて、業種的にも様々で、アウトレットモールに関わる会員様だけではないことも意識しなければなりません。会議所への一番多い相談案件は、金融や融資など経営相談で、この基本的な部分について、しっかりと役に立つ会議所になりたいと考えています。将来のビジョンとして、会員企業様の事業承継の問題にしっかりと取り組んでいきたいと考えています。宇治と城陽の商工会議所と久



（木谷部長）昨年8月に策定した「京都城陽産業かがやきビジョン」の3つの重点プロジェクト「人材マッチングへの取り組み」「産業連携ネットワークの構築」「新産業の創出」についての評価、今後力を入れて推進するプロジェクト、そのための施策など、考えをお聞かせください。

御山商工会で広域連携を組んで、工業視察研修会を実施しました。視察後の懇親会の席で、互いの会話の中で何気なく話した悩みごとが共有する問題点として解決することもあり、日頃から色々と交流する機会があれば、人材マッチングや産業ネットワークなどが生まれてくるのかなと思います。最初は難しく考えず、単純なものからでも全然大丈夫なのかなと思います。



（堀井会頭）今、色々と話題になっていて外国人雇用について、検討したいと思っています

京都の城陽のイメージを強く出すと好印象になり、他府県から城陽で働きたい、住みたい人は増える。――岩見副会頭――

会社の話を色々したり、アウトレットモールに勤める若者と出会うているんな話ができたり、そういう場所が欲しいなと思います。ハード面ばかりじゃなくて、ソフト面も充実することで、賑わいができる。そういう楽しいまちを考えていただければ、ありがたいなと思います。（中川副会頭）今の城陽に



（中川副会頭）今の城陽には、色んなビッグプロジェクトがあり、私たちが賑わいを実現できるように頑張りたいと考えています。お客様は、日々の暮らしの中で、華やかさや賑やかさを一番求めていらっしゃるの、アウトレットモールはおお客様の欲求を満たしてくれれると思います。この年末年始に隣の宇治には、大勢の観光客が来たそうなんです、その方々は城陽には来なかつた。宇治と城陽では、観光客の数、滞在時間、買物などの消費金額など、格差があります。例えば宇治でコイン駐車場を経営している方は、4〜5台の広さで月50万円売り上げるそうで、それだけ流入人口があるだけの魅力が存在する。だからアウトレットモールができて

も、宇治との往復で終わってしまうのではないかと懸念があります。だから、城陽にメリットがあるように入口・出口を考えて、城陽で滞在してもらえぬ施策をしっかりと計画したい。また、ご飯をここで食べた

御山商工会で広域連携を組んで、工業視察研修会を実施しました。視察後の懇親会の席で、互いの会話の中で何気なく話した悩みごとが共有する問題点として解決することもあり、日頃から色々と交流する機会があれば、人材マッチングや産業ネットワークなどが生まれてくるのかなと思います。最初は難しく考えず、単純なものからでも全然大丈夫なのかなと思います。



（堀井会頭）今、色々と話題になっていて外国人雇用について、検討したいと思っています

（生駒専務理事）全国にはありますが、そこでは管内に多くの外国人雇用企業があり、専門職員を入れながら対応しているため、当会議所が認可を取って実行するのは厳しいと思います。外国人実習生を受け入れた企業で話を聞くと、従業

ビッグプロジェクトを成功させるには、もっと城陽の魅力を発信し、城陽への人口・出口を意識すべき。――中川副会頭――

ら、遊びに立ち寄つたらなど、いろんな情報の提供が、まだまだ少ないと思うので、発信力を強化してほしいと思います。（岩見副会頭）弊社の話



（岩見副会頭）弊社の話

になって申し訳ないですが、今までは、生産したものを地元の方に卸売り、小売りをしていました。が、地元以外の方にもどんどん売っていくと取り組んでいます。インターネットでの販売も力を入れており、全国から注文があるんですが、まだまだ城陽の認知度が低い。これは城陽の情報発信ができていないからだと思います。今はインバウンドで京都市内のまちが活性化しています。大勢の外国人観光客が京都に滞在するから、ホテルも次々に建設されています。実は、弊社ではホテルのロビーなどに植物や花を飾る新しい事業がスタートしているんです。これは、京都市内に人が集まったことで、経済の流れがやって来たわけなんです。これと同じように城陽にいても観光による仕事の増加は見込めると思います。さらにいよいよ、アウトレットモールができて、城陽への直接的な流入人口はもちろん、交流人口や定住人口の増加も期待できます。経済面では確実に良い影響が出て、城陽にヒト、モノ、カネが集ま

がお互いにバランスよく両立している、初めてまちが成り立っていくと思います。しかし工業関係は、パブルが弾けてから20〜30年の間で半分に減ってしまっているんです。全国で最盛期には40数万社あったのに、今は20万社ぐらいいかない。その分、工業関係が増えているんですね。工業関係の企業もあるまちの姿がいいなと思うし、白坂テクノパークを見るに、ああいう工業団地は非常に良いなあと個人的に思っています。行政におかれても、ぜひ小さい事業所を応援してほしいとお願います。



（古瀬副会頭）城陽市の都市計画は今のところ、非常に上手にやられていると感じています。ただ、今まで城陽はあまり知られていなくて、「顔がない街やなあ」というのが本音だったんです。でも

（木谷部長）未来への発展が期待される城陽の産業について夢や想いをお話してください。（堀井会頭）人口がどんどん減っていく中で、大きい会社だけが来てダメだと思わんです。やはり地域を考えたら、商店街や小さな個店に賑わいがある、「良い街やなあ」と思える。そのためには商工会議所は、元気のある、やる気のある、知恵を出して、少々リスクを取ってでもやっていくという方を応援したい。また、商業と工業

で読めるようにするなど、形態をどんどん変化させて、多くの消費者に簡単に届く手段を模索し、私たちの充実した情報を発信していきたいなと思います。（奥田市長）堀井会頭をはじめ、副会頭、専務の皆様から、それぞれの立場で貴重な意見を頂戴したと感じています。それぞれの考え方によって商工会議所のスタイルができ、これからのまちの在り方に大きな影響を与えてくださると、大変心強く思っています。城陽市に携わる皆様が自分のために頑張っていたことで、「城陽市が輝いている」「産業界が輝いている」となることが一番大事ではないかと思っております。そのためには、躍動する、活気がある要素がまちづくりに重要であると感じます。市の施策の根幹は、市内事業者にしっかりと儲けてもらうこと。これは引いては税収増につながる。そのような考えの下で施策を展開しています。ベッドタウンだった城陽市は、産業で活況のある新たなまち「NEW城陽」を目指しています。非常に貴重なご意見を頂いたと思っております。これからも、城陽商工会議所とは連携を密にしなが、産業振興に取り組みで参りたいと思っております。本日はありがとうございました。



（奥田市長）堀井会頭をはじめ、副会頭、専務の皆様から、それぞれの立場で貴重な意見を頂戴したと感じています。それぞれの考え方によって商工会議所のスタイルができ、これからのまちの在り方に大きな影響を与えてくださると、大変心強く思っています。城陽市に携わる皆様が自分のために頑張っていたことで、「城陽市が輝いている」「産業界が輝いている」となることが一番大事ではないかと思っております。そのためには、躍動する、活気がある要素がまちづくりに重要であると感じます。市の施策の根幹は、市内事業者にしっかりと儲けてもらうこと。これは引いては税収増につながる。そのような考えの下で施策を展開しています。ベッドタウンだった城陽市は、産業で活況のある新たなまち「NEW城陽」を目指しています。非常に貴重なご意見を頂いたと思っております。これからも、城陽商工会議所とは連携を密にしなが、産業振興に取り組みで参りたいと思っております。本日はありがとうございました。

城陽の枠にこだわらず、近隣市町と交流・協力して、城陽に人を呼び込み、城陽をもっと盛り上げていく。――生駒専務理事――



①吊り下げた製品を塗料に沈めて電着させる ②脱脂や水洗の前処理から電着塗装、水洗、乾燥を自動ラインで行う ③ラインセット、仕上がりは必ず人の手と目で確認
④多くの製品を一度に乾燥させる大型パッチ炉 ⑤職人の技術で仕上げる化粧塗装 ⑥冷却用のフィンなど細かで複雑な製品にカチオン電着塗装は力を発揮する



①イオンプレーティング装置 ②製品や部材の特性に合わせてセットして熱処理される ③熱処理された製品がガス浸炭炉から出る時、酸素の流入を防ぐために炎のカーテンに包まれる ④⑤炉内にサンプルを入れ、適正な処理が施されているか、人の目で確認する ⑥真空熱処理炉は、普遍的技術とされるまで発展・普及してきた

クルマ、自転車、工具など、製品の強度硬度を増す 熱処理加工やイオンプレーティングの技術が 金属の強度や能力を高め、安心と信頼を支える

あらゆる金属の強度や硬度を高める熱処理加工。昭和32年に富尾重一氏が個人で起業し、法人化、分社、合併を経て、平成23年に株式会社アオイヒートテックに改称された。現在は、稲垣勝也氏が代表取締役として舵をとる。

NASAの表面処理技術に挑む

稲垣社長は、学生の時に大学で鋳物を研究していた。卒論の執筆で様々な企業を訪れていたとき、縁あって富尾氏を紹介され、昭和59年に前身の(有)葵熱処理工業所に入社。当時、開発されたばかりのイオンプレーティング装置の担当を任せられた。

これは、アメリカNASAで確立された表面処理技術で、真空状態で気化させたチタンの粒子を、プラズマに通してプラス電荷を帯びさせ、金属製品の表面にチタンの薄膜を形成する。これにより強度や耐久性が、飛躍的にアップする。

加工現場で賞賛された耐久性

イオンプレーティングは前例がなく、誰も教えてくれないので、何百回と試作と研究を繰り返した。苦勞の末、ようやく安定したチタン薄膜ができるようになった。意気揚々と取引先に営業に回った。ところが、信じられない答えが返ってきた。「君たちは、うちの売上を減らす気か」

塗装一筋が、人を育て、技を継承し、未来へ繋がる カチオン電着塗装で複雑で繊細な製品を 薄膜で覆って美しく塗装する

水性塗料に直流電気を流すことで、電着塗料粒子の電気泳動現象が起こり、陽極(+)にした製品を入れると、表面に均一の薄膜塗装ができる。このアニオン電着塗装を昭和42年に京都市右京区で創業した京都エイドー工業株式会社。社名は電気泳動現象に由来する。昭和48年に城陽市に移転し、アニオン電着塗装自動化ラインを新設した。複雑に入り組んだ細部まで、均一に塗装できるため、冷蔵庫の冷却フィン、自動車の動力を伝えるブリー、検査機器のパーツなど、様々な製品の塗装を手掛けてきた。

カチオン電着塗装ラインへ改造

5代目を務める代表取締役の國光洋澄氏は、世界中のコーヒー豆を扱う商社マンだったが、4代目の父・義信氏に請われて昭和58年に入社。平成5年に社長に就任した。

自動車業界は防錆力の強いカチオン電着塗装の流れになったので、國光社長は製品を陰極(-)にする「カチオン電着塗装ライン」に改造することを決意し、平成9年に実行。他にも焼付塗装後に製品を乾燥させる大型のパッチ炉を導入するなど、取引先の要求に応えられる設備投資を行ってきた。

また、排水処理設備を凝集沈殿排水処理に変更し、平成19年には公共用水域である河川に排出していた排水を下

耐久性がアップすれば、製品の買い換えが減って、売上は落ちる。高品質が扱われたことに、愕然とした。

「塗方に暮れましたが、金型やエンドミル(切削工具)で加工する企業を訪問したところ、歓迎されました。24時間稼働させる機械で停止のトラブルが激減したと喜んでいただき、私たちも実践データが収集できて、さらなる品質向上に役立ちました」と稲垣社長は当時を振り返る。

歪みや変形を考慮した熱処理技術

アオイヒートテックの主要技術は、「ガス浸炭焼入焼戻し加工」である。炭素を浸透させて、加熱後に冷却することで、金属を硬化させる。もちろんただ強度を高めるだけでなく、「表面は硬く、内部は柔らかく」など、使用状況や発注先の要望に合わせて、様々な状態の製品を作り出す。

自転車のチェーンを動かして変速させるリアディレイラーや、車のドアを開閉させるヒンジなどの熱処理加工を



株式会社アオイヒートテック
[創業] 昭和32年
[従業員数] 43名
[資本金] 1,000万円
[事業内容] 機械・金属工業製品への熱処理加工
[本社] 城陽市奈島川田47番地
TEL 0774-52-0045



装のみの仕事を受注して、吹き付け部門を伸ばしていくことなど、新しい展開も模索中とのこと。

また、國光社長は広範囲を見守る立場になり、工場長であるご息に舵取りを任せたいと考えているそうだ。京都エイドー工業の新たな船出に、期待が高まっている。

水道に接続。環境に配慮した取り組みも実行している。

実直に塗装一筋が継続の理由

受注産業ゆえに、製品の変化、製造工場の海外移転など、様々な要因で業績は浮き沈みしたそうだ。「バブル景気が弾け、売上げも仕事も下降線の時に社長に就任して、正直言って大変でした。でも景気の良いときも塗装一筋に頑張ってきたお陰で、多くの取引先様からご愛顧いただき、仕事を続けられています」と頭を垂れる國光社長。

丁寧で品質の良い製品づくりと堅実な経営を続けてきたことで、小ロット多品種な製品にも対応して、日本のものづくりを支えている。

世代交代で新たな展開に期待

仕上げ作業の「化粧塗装」は、長年の経験と技術が必要とする。良い腕を持った技術者が育っている一方で、取引先からも高い評価を受けている。そこで製品の仕上げだけでなく、化粧塗

手掛けており、一流メーカーも全幅の信頼を寄せている。熱を加えると金属は歪み、変形する。それを誤差の範囲内に収め、求められる強さや硬さを生み出すために、温度、冷却をコントロールする。そんなアオイヒートテックの技術と経験が、メイドインジャパンの安心と信頼を支えているのだ。



技術や経験が個人に偏らないために、ベテランや若手に関係なく、現場の各所で話し合いや相談が行われ、顧客の要求を満たす最良の製品が加工されている

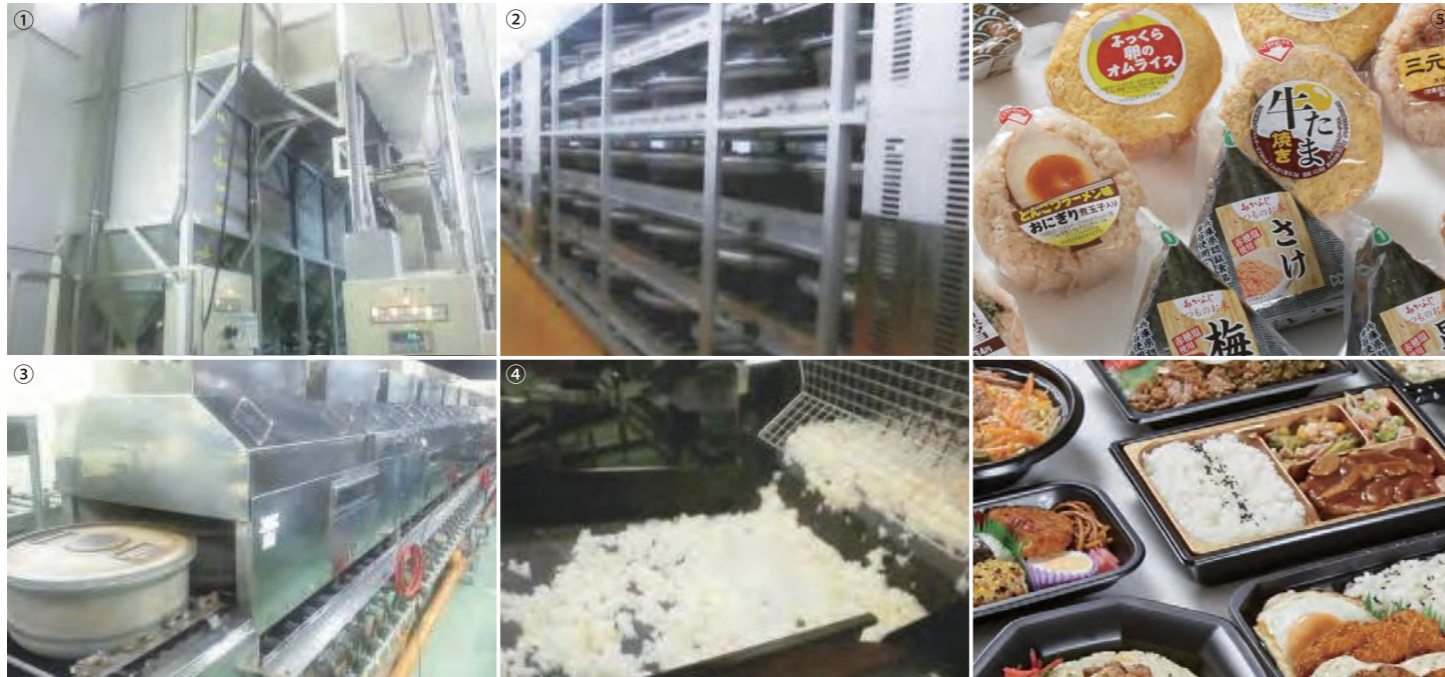
技術者であり、熱処理に精通し、メーカーも全幅の信頼を寄せる稲垣勝也社長



京都エイドー工業株式会社
[創業] 昭和42年9月
[従業員数] 32名
[資本金] 2,800万円
[事業内容] 各種金属製品のカチオン電着塗装、一般焼付塗装
[本社] 城陽市久世荒内191番地
TEL 0774-53-2311



マスク作業風景 品質管理のため、溶液を測定している 代表取締役社長の國光洋澄さん



①生産量をコンピュータ管理して自動的に洗米を行う ②釜ごとに生米と水を計量充填。加水誤差が無く、釜ごとのムラを縮小 ③強い火力で白飯、塩飯、色飯などに合わせた炊き方を行う ④最適な「ほぐし」を行う
おにぎり、弁当、サンドイッチごとに多種多様な商品のラインナップを製造する



①②日本郵便株式会社近畿支社管内では2番目の規模を誇る京都郵便局 ③書状区分機。ハガキや定形封書の郵便番号などを読み取る。1時間に約5万通を仕分ける ④大型郵便物区分機

京都・滋賀を全国に繋ぐ物流拠点 郵便・物流ネットワークの再編で 高品質のサービスや商品を提供する郵便局

郵便・物流ネットワークの再編のひととして日本郵便が進めてきた京都郵便局が、城陽市久世荒内・寺田塚本地区の新局街地（サンフォルテ城陽）に平成30年2月19日に開局。
新名神高速道路・城陽ICに隣接し、新しい城陽の玄関口のランドマークとして、すっきり定着している。

最新鋭区分機で仕分け作業に特化

京都郵便局は、日本郵便株式会社近畿支社管内では、新大阪郵便局に次いで2番目の規模を誇り、延べ床面積は約5万5000平方メートルと甲子園球場とほぼ同じ広さになる。
局内は5階建てで、1階はゆうパック、3階は定形郵便物、4階は大型郵便物の仕分け作業が行われ、2階は事務所5階は食堂・物流倉庫で構成されている。

同局には、小包1台、大型郵便物2台、書状28台の最新鋭の区分機が導入され、1日あたり、およそ郵便物380万通、ゆうパック10万個の処理を行っている。
さらにネット販売や贈答で食品の郵送も増えているため、大型保冷チルド室、冷凍室も完備している。

京都・滋賀の郵便物を取り扱う

京都郵便局には、「京都中央」「福知山」「大津中央」の郵便局の区分業務

コンビニ・スーパーのおにぎり、弁当、サンドイッチを製造 お米にこだわり、炊飯にこだわり、 美味しいご飯で日本の活力を支える

コンビニやスーパーマーケットで販売しているおにぎり、弁当、寿司、サンドイッチなどの製造を手がける株式会社 Shinmei Delica。
レシピに合わせた正確な商品づくりをはじめ、取引先のイメージや要望に合わせたオリジナル商品の企画提案も行っており、大手コンビニエンスストアやチェーンストアなどから全幅の信頼を寄せている。

城陽本社では調理パンも製造

城陽の本社工場を中心に、泉大津工場（泉大津市）、美原工場（堺市）、八幡工場（八幡市）、白岡工場（埼玉・白岡市）の5つの事業所を展開し、美原と八幡は炊飯専用になっている。城陽本社では炊飯以外に、サンドイッチやドッグ類の調理パンの製造を行っている。大手コンビニの商品も手がけている。

食の安全・安心の意識が高まり、食品メーカーや小売店が求めるハードルが厳しくなる中、同社では検査室で商品の状態を確認し、生産現場の衛生管理を徹底し、食中毒や製品への異物混入を防いでいる。また本社、八幡、泉大津は監視カメラを24時間稼働させて、フードテロ対策を行っているそうだ。

米と炊飯にこだわる

平成29年4月に「神明デリカ」と城

が移管された。これにより、郵便物とゆうパックについて、京都府と滋賀県から差し出されたもの、他の都道府県から京都・滋賀に送られたものは、すべて同局に集められる。
大量の郵便物を京都郵便局において区分機で処理することにより、迅速かつ効率的な業務を行うことができる。これにより、利用者のサービスの向上にも繋がる。

またJR京都駅前の京都中央郵便局で行われていたときから比べると、京都郵便局は輸送トラックの出入りは大変スムーズになった。さらに敷地内には大型トラックが待機する駐車場も多く設けられているので、搬入搬出の時間短縮や効率アップの効果も出ている。

物流ソリューションサービスを目指す

京都郵便局では、当初900人の人員稼働を予定していたが、現在はそれを上回る1100人が24時間体制で、業務に従事されている。
同局は、個人の郵便物の持ち込みを扱っていないが、大口の取り扱いはあ



京都郵便局
[開局]平成30年2月19日
[従業員数]1,100名
[事業内容]郵便物、ゆうパックなどの区分け作業
[住所]城陽市寺田塚本77番6
TEL 0774-41-0004



新名神高速道路城陽インターに隣接している京都郵便局

る企業は取引できるそうだ。
京都・滋賀を全国と結ぶ物流拠点であり、更なる物流ソリューションサービスの提供をめざす京都郵便局が、今後の城陽のまちづくりや経済発展に、好影響を及ぼしてくれることに、期待が高まっている。

浸透し、暮らしに欠かせない存在になっている。それゆえに、安全安心で美味しくお手頃なものを求める消費者を満足させるには、日常の一つひとつの仕事に実直に向き合い、努力を続けることだと考えているそうだ。
日本人の主食である米を扱い、活力の糧となるおにぎりや弁当を作る同社が私たちの暮らしを支えてくれている。



徹底した衛生管理、品質管理のもとで、お弁当、おにぎり、サンドイッチなどが24時間製造されている



株式会社 Shinmei Delica
[創業]昭和53年2月
[従業員数]740名
[資本金]2億1,000万円
[事業内容]炊飯米、米飯加工品の製造販売、学校給食、調理パン及び食材、冷凍加工品の製造販売
[本社]城陽市上津屋境端32番地
TEL 0774-54-1161





①新しい本社屋を建設中で、2020年に完成予定 ②チリやホコリを排除したクリーンルーム工場で製造する ③i-Medicoat・アイ・メディコート
④展示会にも積極的に出展し、技術力をアピール ⑤綿密な打ち合わせを行いながら製造する ⑥徹底した品質管理を行い、質の高い製品を製造する

90年代後半から国産ノートパソコンが普及し、2000年からは小型化・軽量化で各社が競い合う。中島工業も95年にセミクリーン工場を建設し、光学フィルム用途事業へ参入する。
「軽いが強い」「薄いが耐久性がある」といった矛盾する目標をメーカーは要望され、それを表現させるのが、私たちの役目。ものづくりへの情熱で粘り強く何度も挑戦し、あらゆる難題をクリアしてきました」と語る中島社長。
ノートパソコンの天板、電子レンジや家電製品の薄いシート状スイッチ（メンブレン）など、中島工業は様々な製品を手掛けるようになっていく。



中島工業株式会社
[創業] 昭和52年
[従業員数] 180名
[資本金] 8,000万円
[事業内容] プラスチックフィルムに対するコーティング及び設計・開発
[本社]
城陽市平川広田87-5
TEL 0774-54-1771



ロゴを転写するフィルム 中島睦夫社長

金銀系を生業とする家に生まれた中島睦夫氏が、金銀系用着色コーティングフィルムを製造する会社を昭和52年11月に起業したのが中島工業株式会社の始まり。進取の気性に富んだ中島社長は、金銀系製造の技術を活かして工業分野に進出。様々な試作や開発に挑戦し、技術と品質の良さから、磁気テープ（カセットテープ）などの製造依頼が舞い込んだ。多様な依頼に応える毎に、社員や製造機械が増え、確実に会社の規模が広がっていった。
中島社長は、生まれた「城陽市」を愛し、新しい工場も城陽市で建設し、地元若者採用にもこだわってきた。

現在、電子機器分野では、高機能性フィルムコーティング製造に力を入れ、スマートフォン、タブレットPC、タッチパネル機器の内部に採用されている。「AI時代が到来する中、世界大手メーカーから、日々多様な製品開発の要望が伝えられる。今後益々、社員の情熱と創意工夫が、問われてくる。常に新しいものへの挑戦が必要」と中島社長。
新時代に挑む、若い社員の採用や教育にも力を注ぎ、社員同士が切磋琢磨する環境を整えたいとぞうだ。



中島睦夫社長

最新鋭工場で、高機能性プラスチックフィルムへのコーティング
難しい要望を達成するものづくりへの情熱が
電子機器や医療など、あらゆる分野を支える

ジにも紹介されている。この製品は、タブレットパソコン本体を入れる滅菌された袋で、薬液や血液が付いた手術手袋で触れてもタッチ操作ができる優れもの。医師が日常活用しているタブレットパソコンやスマホを手術室に持ち込むことが可能になり、大変好評だぞうだ。
中島工業の技術は、これからも新たな付加価値を生み出していき、それが社会の常識を塗り替えて、便利で快適な未来を実現させていくのだ。



①納品先のスーパーの作業が軽減されるため、仕分けは重要な業務である ②整然と整理された冷蔵倉庫 ③20基のドッグシェルターがある京都城陽ハブセンター
④社員の憩いの場になっている食堂 ⑤血圧や飲酒など対面で厳密に運行前検査が行われる ⑥京都城陽ハブセンターには4ト、8ト合わせて38台のトラックが配備

ダイセーエブリー二十四株式会社（以下、エブリー24）は昭和58（1983）年に創業。名古屋を本拠地として、関東から中国・四国まで幅広いエリアに物流ネットワークを築き、毎日1万ヶ所に食品を届け、スーパー業界を支えている。
食品メーカーが独自で大型スーパーやコンビニ、チェーンストアに配送するのは、人材もコストもかかる。ここに着目した同社は、複数の食品メーカーから預かった商品を一台のトラックで一括して届ける共同配送を、業界で先駆けて始めた。これはスーパーにとって、一度に複数の商品を受け取れるメリットがあるため、多くの食品メーカーが支持した。
平成30年7月、新名神高速道路・城陽JCT・IC前に完成した「京都城陽ハブセンター」。商品を三温度帯で管理するために、常温、冷蔵、冷凍の倉庫で構成され、1643坪の広さは以前の京都ハブセンターの約8倍の規模になる。
最も広い冷蔵庫内では多くのスタッフが、チェーンストアの店名が書かれた数十店分のコンテナに、日配食品を仕分けていた。一括して本部の配送セ



ダイセーエブリー二十四株式会社
[創業] 昭和58年9月7日
[従業員数] 2,308名
[資本金] 5,500万円
[事業内容] チルド食品（冷蔵品）専門の年中無休24時間配送業務及び配送センターによる一時保管・仕分・出荷等の流通加工、情報を絡めた流通提案業務
[本社] 愛知県一宮市萩原町萩原字松山531-27
[京都城陽ハブセンター]
城陽市寺田塚89番外
TEL 0774-54-6124



期待高まる京都城陽ハブセンター
エブリー24では、ドライバーの育成に力を入れている。先輩について仕事を覚えるのは個々の指導に差が出るため、同社ではドライバー育成カリキュラムが充実している。
「広いスペースで様々な要望に対応できるのももちろん、新名神が全線開通すれば大阪から神戸へ納品していた商品が、城陽からのほうが時間短縮になる可能性がります。また万一の時のバックアップルートにもなるので京都城陽ハブセンターは重要な拠点になります」とセンター長の藤原基さん。社としての期待も高く、センター内には全社で2カ所目になる社員食堂が設けられた。作りたての温かな食事が味わえ、社員やスタッフの空腹を満たし、休憩の場になっている。
「独自のドライバー教育で新人育成」

独自のドライバー教育で新人育成
エブリー24では、ドライバーの育成に力を入れている。先輩について仕事を覚えるのは個々の指導に差が出るため、同社ではドライバー育成カリキュラムが充実している。



ダイセーエブリー二十四株式会社 京都城陽ハブセンターの藤原センター長

すべてのものを、いつでも届けるのがミッション
毎日1万ヶ所に食品を届ける共同配送
城陽の新拠点から、関西の食を支える
ラムがある。独自のキャリアアップノードに従って訓練を積み、テストに合格した者だけがドライバーデビューできる。また運転に関するスキルを競うマイスターコンテストを毎年実施し、個々の技術向上が、顧客満足度に繋がっている。
24時間365日、必要な数量を必要とする時に確実に届けるエブリー24が、今日もまた、私たちの食を運んでくれているのだ。



マイスターコンテストで縦列駐車場の正確さを競う様子

事業所設置促進補助金

補助率等 投下固定資産額等 × 10% (注) 土地取得費は補助対象外です。

| 交付限度額 | 府内常用雇用者数 ^{※1} | 限度額 ^{※2} | 50~99人の場合 | 2億円 ^{※3} |
|-------|------------------------|-------------------|-------------|-------------------|
| | 5~9人の場合 | 0.5億円 | 100~299人の場合 | 3億円 ^{※3} |
| | 10~19人の場合 | 1億円 | 300~499人の場合 | 6億円 ^{※3} |
| | 20~49人の場合 | 1.5億円 | 500人以上の場合 | 8億円 ^{※3} |

※1. 府内常用雇用者とは、府内に住所を有し、かつ雇用保険の被保険者となっている常用雇用者をいいます。また、府内常用雇用者のうち府内他施設からの異動者を除いた者を新規府内常用雇用者といいます。
 ※2. 大規模投資や、円高時の輸出関連産業については、別途、特別限度額が適用されます。(事業所設置補助金のみ)
 ※3. 50人以上の区分を適用する場合における府内常用雇用者数については、府内他施設からの異動者は含みません。

府内常用雇用促進補助金

補助率等 新規府内常用雇用者数 × 右記単価 (障がい者 50万円/人、正規雇用者 40万円/人、その他 10万円/人)

交付限度額 8億円 (平成34年3月31日までに補助対象事業所としての指定を受けたもの)

| 補助対象業種 | 補助対象要件 | | |
|-----------------------------------|---|--------------------|----------|
| | 用地等面積 | 投下固定資産額等 (土地取得費除く) | 府内常用雇用者数 |
| 製造業等 ※製造業等には製造業類似事業(植木工場等)も含む。 | 工場 種まき型支援 京都の特性を活かした企業(例)・府内産の農産物を利用した食品製造の立地にあつては、1,000㎡ | 3,000㎡かつ3億円かつ5人 | |
| 本社 | | (1,000㎡又は1億円) かつ5人 | |
| 自然科学研究所 | (1,000㎡又は1億円) かつ5人 | | |
| 情報関連産業 (コールセンターは除く) | (1,000㎡又は5,000万円) かつ5人 | | |

(注) 京都府内で事業所を移転・集約する場合は、別途要件があります。
 →既存敷地内での増設の場合は、さらに下記のいずれかの要件を満たす必要があります。
 現在の工場等が ①敷地面積30,000㎡以上 ②従業員200人以上 ③製造品出荷額50億円以上 京都府内本社企業の場合 ④直近決算売上高100億円以上

対象 「京都産業立地戦略 21 特別対策事業費補助金」の対象となる工場等の新設、増設

融資利率 特別金利 年1.2% (金融情勢により変更する場合あり)
 府内常用雇用者総数が増加しない場合は1.7% (当初10年間固定、11年目以降は取扱金融機関が定める所定金利)

資金使途 ・工場等の新設、増設に必要な設備資金 (土地、建物、機械、設備等の取得資金)
 ・操業に必要な運転資金

融資限度額 所要資金の90%以内で20億円以内 (うち運転資金1億円以内)

融資期間 ・設備資金 20年以内 (据置期間3年以内)
 ・運転資金 7年以内 (据置期間1年以内)

※特別金利は補助金要件のほか、府内事業所の府内常用雇用者総数が増加する場合の設備融資に適用されます。○ご利用にあたっては取扱金融機関の審査があり、希望に添えない場合があります。

不動産取得税の軽減 (ものづくり産業等集積促進税制)

不動産取得税を最大1/2軽減します。

対象地域 ものづくり産業等集積促進地域^{※1}

対象業種 製造業・ソフトウェア業・情報処理サービス業

軽減内容 不動産取得税を最大1/2軽減 (不均一課税)^{※2}
 (平成34年3月31日までに土地又は家屋を取得したもの)

| 対象施設 | 要件 | |
|----------|---------------|-------------------------------|
| | 設備取得額 (土地を除く) | 府内常用雇用者数 |
| 工場 | 2,700万円超 | 5人以上 |
| 研究所・開発拠点 | 5,000万円超 | (対象企業の府内事業所の府内常用雇用者総数が増加すること) |

※1 ものづくり産業の集積の促進を図る必要があると認められる地域で、市町村長の申出に基づき、知事が指定した地域をいいます。 ※2 土地及び建物を取得した者が、直接自らのつくりの用に供する場合に対象となり、営業部門や本社部門は軽減対象外です。 ○過去に追徴課税を受けている企業は利用できない場合がありますので、必ずお問い合わせください。

城陽市企業立地促進条例

| 措置 | 内容 | 対象地域及び対象者 | 対象要件 |
|-----------|---|---|---|
| 事業場等設置助成金 | ○投下固定資産額(土地取得を除く)の100分の10以内の額 ○限度額: 3,000万円 (※情報関連産業、自然科学研究所及び製造業に係る事業場等以外は1,000万円) | 市内の都市計画法上の準工業地域、工業地域又は工業専用地域及び市長が指定する地域内に事業場等を移転、新・増設する企業 | ○情報関連産業、自然科学研究所の本店及び事業場、製造業に係る本店 →敷地面積500㎡以上取得もしくは賃借、又は投下固定資産額等5,000万円以上かつ地元新規雇用者数1人以上 |
| 操業支援助成金 | ○固定資産税相当額(土地分除く)に次の率を乗じて得た額: (第1年度)100分の75 (第2年度)100分の50 (第3年度)100分の25 ○3年間の交付額の上限: 5,000万円 | ※平成34年3月31日までに指定申請して助成対象企業の指定を受けた企業の内、指定を受けた日の属する年度から4年度以内に事業場等の操業を開始する企業 | ○製造業に係る事業場及びその他の産業で、市長が特に認める産業の本店及び事業場 →敷地面積500㎡以上取得もしくは賃借、かつ投下固定資産額等1億円以上又は地元新規雇用者数1人以上 |
| 雇用創出助成金 | ○操業開始日の属する年度の翌年度以降4年間に1年以上継続して新たに雇用した城陽市在住従業員数に30万円を乗じて得た額 ○4年間の交付合計額の上限: 3,000万円 | | |

※ただし、京都産業立地戦略 21 特別対策事業費補助との重複は不可。

生産性向上特別措置法に基づく「先端設備等導入計画」の認定申請について

本市に所在している中小企業が2021年7月1日までに、労働生産性を一定程度向上させるため、本市の「導入促進基本計画」に基づき「先端設備等導入計画」を策定し、市に申請を行い、認定を受けることで、税制支援や金融支援などの支援措置を活用することができます。なお、先端設備等については、「先端設備等導入計画」の認定後に取得することが必須となっていますので、ご注意ください。

認定のメリット

- 一定の設備を新規取得した場合、認定を受けた設備の固定資産税の課税標準が3年間ゼロになります。
- 平成30年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」の補助率のかさ上げ(1/2以内→2/3以内)及び加算の対象となります。(2019年3月現在)
- 先端設備等導入計画の実行にあたり、民間金融機関から融資を受ける際、信用保証協会による信用保証のうち、普通保険等とは別枠での追加保証が受けられます。

先端設備等導入計画の主な要件

| 主な要件 | 計画期間 | 労働生産性 | 先端設備等の種類 | 計画内容 |
|------|-------------|---|---|--|
| 内容 | 計画認定から3~5年間 | 計画期間において、基準年度(※1)比で労働生産性が年平均3%以上向上すること。算定式(営業利益+人件費+減価償却費)/労働投入量(※2) ※1直近の事業年度末 ※2労働者又は労働者一人あたり年間就業時間 | ・労働生産性の向上に必要な生産、販売活動等の用に直接供される下記設備 【減価償却資産の種類】機械装置、測定工具及び検査工具、器具備品、建物附属設備、ソフトウェア | ・導入促進指針及び導入促進基本計画に適合するものであること。 ・先端設備等の導入が円滑かつ確実に実施されると見込めるものであること。 ・認定経営革新等支援機関(商工会議所等)において、事前確認を行った計画であること。 |

最後に、掲載企業の代表者様のご協力に感謝するとともに、城陽を盛り上げるため、今後とも本市の産業振興施策への御理解と御協力をより願います。

昨年8月に、産業振興を戦略的かつ効果的に進める指針として、「京都城陽産業かがやきビジョン」を策定しました。基本理念である「城陽新時代人とモノが行きかうハブ都市」の実現に向けて、明日のかがやく城陽の産業振興を戦略的かつ効果的に進めてまいります。

また、新名神高速道路の2023年度全線開通に向けた工事が着々と進む中、昨年9月には城陽ジャンクション・インターチェンジの隣接地、久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業地区の愛称が「サンフォルテ城陽」に決定し、新しい企業や店舗が続々と操業を開始されています。

このように活気づく城陽で、シティブロモーションや地域経済の活性化に資する企業を紹介すべく、この第4号では、これまでの製造業に加え、郵便業、運輸業も新たに紹介しております。



城陽市長 奥田敏晴

京都府の優遇制度

城陽市の優遇制度